

花 筏

菅 隆彦

対局の沈思黙考夏座敷

鳶円舞夏の山並み潮の風

春

競技場貫き天井に夏の月

山深き白川郷も春息吹

身に纏う花立雛のすまし顔

秋

鰯雲映りし水面魚の影

お堀端風に煽られ花筏

山並みに朝靄煙る梅の郷

尾長鶏明けを待てずに鳴く夜長

バカンスの行き先決める夏隣り

能登復興キリコ先立て祭り来る

夏

山麓がコキア紅葉に染まる富士

峡谷のトロッコ抜ける風五月

冬

渡良瀬を走るトロッコ風薫る

冠雪の逆さ赤富士山中湖

にわか雨土の匂いの夏めきぬ

霧氷林静まる川の朝ぼらけ

暁光や川鶉の飛列絶え間なく

正月

幾千年甦り咲く大賀蓮

出し合つて長寿を祝う年賀状